

今月のBookコーナー

11月号

歯科雑誌をよむ



産婦人科領域の歯科医療

『ザ・クインテッセンス』は、千葉県勤務の藤岡万里氏による連載「お母さんと子どもの口腔と健康を守る歯科医療」を開始。

第一回は、妊婦に対するかかりつけ歯科の役割に関する内容で、歯学部で学ぶ産婦人科領域の歯科医療が、妊娠性歯肉炎、妊娠性エブリーフスなどに限られる、というところから妊娠・妊婦についてより幅広い認識を持つべきだと訴えた。

腸・唾液腺 関連の研究

『歯界展望』は、神奈川県立歯科大学の榎本恵一氏による「唾液・唾液腺研究の最前線」を掲載。歯科医療従事者は、唾液を歯科のテリトリーだと思っているが、COVID-19での唾液検体PCR検査を巡る議論などで、一般社会では必ずしもそう考えられていないことが明らかになった。

最新の研究では、口腔局所での唾液の働きを超えて、腸・唾液腺関連など全身との関連を解明する成果が上がっている。こうした働きを「唾液力」と呼び、免疫の向上を目指す医療につなげる可能性を示唆している。

Instagram活用術

『デンタルダイヤモンド』は、埼玉県開業の山本達也氏、SNSコンサルタントの梁瀬

生指導や歯科治療に考慮する方法を提案している。

真優花氏による連載「いま歯科医院のSNSが熱い。魅せる・集めるInstagram活用術」を開始。

SNSの基礎から集患に向けたInstagram運用のポイント、スタッフを巻き込む方法を対談形式で解説するもの。第一回は、SNSマーケティングとは何か、ビジネスアカウントの設定、「タイムライン」を付ける「共感を得る文章」など、魅力的な投稿をするためのポイントを提示した。

咬合採得時の下顎位設定法

『日本歯科評論』は特集で、日本顎咬合学会東北支部の企画による「咬合採得時の下顎位をどう決めるか」を掲載。

さまざまな顎位の設定方法の中で、ゴシックアーチ(齋藤善広氏)、チンポイント(清水俊克氏)、リーフゲージ(勝部義明氏)、アキシオグラフ解析(杉山豊氏)という4種

の代表的な咬合採得法を、それぞれのエキスパートが解説している。

2021年3月7日に開催されたウェブ講演会をもとに、誌面にまとめたもの。

1.5次歯科診療所の役割

『アポロニア21』は特集口から「カラダ」を守る一手の中で、東京都開業の中原雅浩氏による「医科歯科・病診連携の核となる1.5次歯科診療所」を掲載。

訪問診療で地域連携の核になっている在宅療養支援歯科診療所に、高度な外来機能(一部入院)と研修機能を加えたイメージで、地域のかかりつけ歯科医から難症例の紹介を受けた時、突発的な人員のサポートを行う中規模歯科医院を設置するアイデア。都市部では区歯科医師会の会館に設置し、その管理者が歯科医師会会長を兼ねて、地域連携をコーディネートする役割も期待されるといふ。

著者に聞く

リンダ・グラットンとアンドリュー・スコットは共著『LIFESPAN:100年時代の人生戦略』の中で、日本人の100歳以上の人口は2050年までに100万人を突破すると書いている。人生100年時代をテーマにした『人生100年時代 歯を長持ちさせる鉄則(ルール)』(クロスメディア・パブリッシング刊)の著者、エンバシデンタルクリニック院長の魚田真弘氏は、本書で歯の寿命100歳を実現し、生涯、噛めて、笑って、人生100年を築くための基礎知識と新常識を惜しみなく伝授している。魚田氏に本書発行の狙いや歯科の外向け情報発信力の在り方を聞いた。

人生100年時代 歯を長持ちさせる鉄則



魚田 真弘 著/B6判/254ページ/1,518円/クロスメディア・パブリッシング

「人生100年時代」というのはマスコミ等でも広く取り上げられ、社会に浸透していると思いますが、「歯の寿命60年」はそれほど認識されているとは思えないのですが、対外的メディア力の差でしょうか。

魚田 「人生100年時代」というワードは最近よく耳にします。医学の進歩で寿命が延びたのは喜ばしいことだと思います。一方で歯の平均寿命は60年と、残念ながら伸び悩んでいるのが現状です。この「人生の寿命100

年」と「歯の寿命60年」の40年のギャップに着目したのがこの本の始まりでした。この40年のギャップは当然皆さん認識しておられませんが、歯科医師の間でも意識している先生は多くありません。そのギャップを何とか埋められないものかという思いで書いたのがこの本です。

日本歯科医師会と国は、「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」とこの願いをこめて「8020運動」を推進しています。直近の調査結果では、80歳で

を用意

20本の自分の歯を有する人が50%を超えています。しかし、20本歯が残っていてもそれが上下で揃っていないと、十分に噛めているとは言えないし、実際にそうした高齢者が増えています。つまり、残っている歯の機能までを見ないと実態は掴めないと言えます。歯を残すという国の政策として、「8020運動」は良い方向に進んでいますが、歯を残すだけにとどまらず食事や会話を楽しく、生涯人生をエンジョイするためには次のステップに進む必要があります。

高齢者歯科医療の臨床眼

日常臨床からMRONJ・口腔機能低下症まで

監・著：松尾浩一郎

(東京医科大学大学院歯学総合研究科 地域・福祉口腔機能管理学分野)

好評発売中!



A4判/128頁/オールカラー 定価(本体7,200円+税)

超高齢社会に求められる 歯科医療者の +αの多角的視点(臨床眼)。各領域のスペシャリストによる 厳選15症例に学ぶ!!

超高齢社会のわが国において高齢者に対する歯科治療は、特別なものではないばかりか、診療の中心となりつつあります。高齢者は、全身疾患や多剤服用、さらには認知症をはじめとした精神疾患など、さまざまな懸念事項を有している場合があり、家族や多職種との情報共有、そして多角的な視点が必要となります。本書では、高齢患者を診るときに、全身疾患や患者背景を考慮しながら、診査・診断から治療に至るプロセスにおいて、診るべきポイントを実際の症例に沿ってご解説いただきました。明日からの高齢者臨床に欠かせない必携の書です。

Contents

- Prologue 超高齢社会に対応できる歯科医療者とは
- CASE01 口腔乾燥症患者へのう蝕治療
- CASE02 心臓病患者への歯周治療
- CASE03 後期高齢者への歯内療法
- CASE04 義歯困難症例への対応
- CASE05 高齢者へのインプラント治療
- CASE06 どこまでやるか? 高齢者の審美歯科治療
- CASE07 認知症の人への歯科治療
- CASE08 ビスホスホネート製剤使用患者に行う安全な抜歯
- CASE09 心疾患患者の抜歯
- CASE10 がん薬物療法患者の安全な観血的歯科処置 他全15症例

書籍

(価格は税込)

出た出た! デッター号



北折原 一 原作・企画/黒城 好秀 監修/A5判/100ページ/1,320円/少年写真新聞社

主人公のショウタはある日、じーちゃん(じいちゃん)の歯がむし歯でもないので抜けるに全て抜ける。デッター号という宇宙船が現れ、「じーちゃんの歯が危ない!」と告げられて戦うことに。破骨細胞や歯周病菌などがキャラクター化されており、とても楽しく読み進められる。放置しておくとも全身病につながる危険のある歯周病の怖さや、予防法を説く一冊。日本歯科医師会が協力。

無理なくできる根面被覆導入マニュアル



木村 英隆 著/A4判/88ページ/7,920円/インナーアクション

薄い歯肉に対する根面被覆の治療について述べた書。昨今増えてきた根面被覆の治療の際に使われているのは、主に海外的な技術だが、日本人は歯の辺縁歯肉が薄くて幅も狭く、若い人でも歯肉の後退などのトラブルが多いため、欧米人と同じ治療法では満足に治せない。根面被覆治療は歯肉組織の移植手術で専門の知識や技能の習得が必要。豊富な写真と、基礎知識と治療ステップ別の必須技術がまとめてあり、分かりやすい。

インプラント治療のトラブル&リカバリ



木津康博、竹島明道、樋口大輔 編集委員/A4変型判/154ページ/5,940円/デンタルダイヤモンド社

『デンタルダイヤモンド』増刊として、インプラント治療で起き得るトラブルや、きた場合の患者対応、さらには審美的な原因によるトラブルや、歯科衛生士が気を付けるべきことなども細かく指南する。医事紛争を防ぐポイントも紹介。一般開業医の臨床ですぐに役に立つような内容を取りまとめた、転ばぬ先の杖となる一冊。

ペリオバカ養成講座2



山本 浩正 著/A8判/176ページ/5,940円/医歯薬出版

『デンタルハイジーン』で2年間連載された連載を1冊にまとめ、加筆したものの続編。ペリオについて「自分がどれだけ分かっていないか」を知ることが学びのスタートとして、ペリオ治療の知識などを教えると同時に、「ペリオバカ度診断」(未熟度テスト)を各章に設けた。ペリオについて知識を深め、楽しく学べる。

新刊・近刊 (10月)

Table listing various dental books and manuals with titles, authors, and prices. Includes titles like 'スポーツ歯科臨床マニュアル<第2版>', '歯界展望」別冊 はじめての部分床義歯', '義歯補綴医×矯正歯科医クロストーク', etc.



魚田 真弘 氏

患者の悩みに対応する100項目

「どうして本という媒体を選んだのでしょうか? 魚田 正しい情報を正しく伝えるという事は非常に難しいことだと思っただけです。まずは情報を正しく伝達する難しさです。」

「そのために本を一冊、熟読していただければそれは最高にうれしいことですが、多忙な人はそんな時間はないので、自分の悩みをいままへに解決するために100のポイントを読むだけでサクッと解決できればと考えて設けました。」

「これは医療人にとって当然といえますが、そのスキルをいかに発揮し、アピールするための発信力を高める工夫がこれからの時代は求められてきます。」

「Q&Aと100のポイントをまとめるのは苦勞されたのではないですか。」

「硬い食べ物や片側で噛んでしまう癖がある。硬い物が噛みにくくなった「コーラや無糖でも炭酸飲料を週5回以上飲む」「固形の薬を飲むときに喉を通りにくく感じる」など、20項目のチェックリストを設けています。」

「院内ではなく、外へ外へ」と発信するエネルギーはどこからくるのでしょうか。」

「必ず上達矯正臨床」として、本書は、診断法や治療器具などの基礎から始まり、一般開業医でも全顎的な矯正治療ができるようになることを目的とした入門書。」

「事例に学ぶ・歯科法律トラブルの傾向と対策」2018年初版のベストセラーを基に、これまでの法改正を踏まえて大幅改訂した。主な変更は心賠義務、診療報酬の請求権の時効、歯科技工所の規制、未成年の同意能力、診療や広告のガイドラインなど。」

Advertisement for Shien Co., Ltd. featuring social media icons for Facebook and Twitter, and contact information: TEL 03-3234-2475 / FAX 03-3234-2477.